

八丈島文化協会 会報 第10号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

平成27年9月10日発行

28年度への予算要望、事業活動への提案を

会員団体での要望・提案の検討をお願いします

文化協会第4年度の活動も早いもので半分が経過しました。協会員の皆さんも日常活動に多忙な半年だったと思います。

秋の声とともに、次年度を視野に入れた要望活動の時期になりました。来年度の活動を、より活性化したいという期待を込めた「28年度八丈町への予算要望」を含めた多様な協会事業への提案を、全会員を対象に募ります。会員におかれては、この1年間を振り返り、活動をまとめていただきながら、八丈町への要望（予算計上を含む）や意見と併せ、文化協会に対する改善意見、要望、活動に対する具申など、どんな小さなことでも心おきなくお寄せ下さい。理事会と提案団体とで検討しあいながら、来年度の事業活動への具体化を図っていききたいと思います。

今回は下記のように進め、意見や提案が今までよりやりやすくなるよう理事会で考え練りました積極的な提案をお願いします。

- (1) 全会員団体が来年度の活動について討議・検討して頂きたいと思います。
- (2) 予算要求、改善要求、意見等がまとまりましたら本会報に添付されている「アンケート」にご記入下さい。（アンケートは協会事務局（富士見地区公会堂内）へ持参、郵送、FAX、メールをお願いします。）
- (3) アンケートは10月13日（火）までをお願いします。
- (4) 要望及び提案は10月13日（火）午後7時30分から富士見地区公会堂で予定している「第3回団体代表者会議」で報告し、内容の検討を行ないます。
- (5) 提案団体とは個別にも協議を行い、具体化を目指して検討を進めます。
- (6) 町への要望事項となった提案は、事務局で要望書を作成し10月下旬頃八丈町に対し予算化の要請をします。（要望書の結果は翌年3月上旬ころ町当局から内示されます。）

※ 連絡、問い合わせは協会事務局（2-2833）へお願いします。

【お願い：団体内で閲覧されるなど、会員への周知をよろしくお願いいたします。 部数増を希望される団体は事務局へ】



第3回ハ丈島芸能文化祭が開催されます。

今回の芸能文化祭は、「わいらが残した島の芸能」と題し、ちょっと昔の島を思い出しながら、島の伝統芸能や島外の伝統芸能を観客のみなさんと一緒に楽しめるような、参加型の舞台構成になっています。

9月23日(水)開場13:00 開演13:30 八丈町多目的ホール「おじゃれ」にて

【前売り】 一般 ¥1500 高校生以下 ¥400

【当日】 一般 ¥2000 高校生以下 ¥500

島外ゲスト

＜エイサー ていだエイサー隊＞

エイサーといえば、沖縄の代表的な伝統芸能として有名ですが、旧盆の時期に先祖を供養する、本土でいう盆踊りにあたります。今回は、ていだエイサー隊の方が以前、島におられた事もあり出演が実現しました。ハ丈島の「ていだ」(沖縄の言葉で太陽)に負けない力強い演奏と踊りで、楽しませてくれるでしょう。



＜ホーミー・馬頭琴 岡林立哉＞

みなさん、ホーミーという歌唱法をご存知でしょうか？

一人の人間が一度に2つ以上の音を発するという中央アジアの山岳地帯の民族の中で伝承され、特にモンゴル民族のものをホーミーといっています。日本で数少ない奏者の岡林立哉さんは、「ホーミーの宇宙的響き、馬頭琴の素朴な暖かさで、音そのものの持つ力を表現したい」と言われます。モンゴル遊牧民族の伝承音楽、心に響く素晴らしい音色をご堪能ください。

※ワークショップ参加者募集

ワークショップにも是非ご参加を！！ (事前申込み 090-4138-6881 浅沼優子)

当日会場での受付も可能です！！気軽に御参加ください！！

「ショメ節」 21日(月)13:00～ 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

「エイサー」 // 19:00～21:00 //

「ハ丈島JAZZフェスティバル2015」報告

3回目となるハ丈島JAZZフェスティバル2015は、おじゃれ運営委員会と文化協会の共催で、8月21日と22日に多目的ホールおじゃれで開催され、2日間で455名の来場者数を記録しました。協賛企業やボランティア・スタッフなど、当イベントの趣旨にご賛同いただきました多くの方のご理解とご協力のもと、今年も大成功を収めることができました。

今年は過去2回のJAZZフェスを通じて、今まで出演するだけだった中学生たちが、「このイベントを残して、私たちが味わった感動を後輩たちにも味あわせてあげたい!!」と、自ら企画する側にも参加しました。チラシやTシャツのデザインを考えたり、司会進行や舞台演出を考えたり、まさに“子どもたちによる子どもたちのためのジャズフェス”が実現しました。

“プロ&アマ夢の共演”では、ジャズ特有のアドリブにも挑戦しました。音楽業界の第一線で活躍するプロミュージシャンと肩を並べて、緊張しながらも楽しそうに演奏している子どもたちの笑顔を見ることができました。



ハ丈島JAZZフェスティバル2015運営会議代表・小泉雅一
(多目的ホールおじゃれ運営委員会委員長、文化協会理事)



☆加盟団体活動記録(2015年7月～9月上旬)

※協会で把握しているもののみを掲載しています。未掲載の情報がありましたらお知らせ下さい。

八丈島自然っ子クラブ キャンプ(オヨギド)8月29日(土)30日(日)
八丈島 Soka 栄光バンド、八丈ウインドオーケストラ、八丈太鼓月曜会、八丈太鼓六人会、Heat UP、檜之扇会
八丈島夏まつり(7月23日(木)～25日(土)、多目的ホールおじゃれ)に出演
八丈ウインドオーケストラ 八丈島JAZZフェスティバル2015
(21日(金)、22日(土)、多目的ホールおじゃれ)に出演
島民大学講座実行委員会 第69回八丈島民大学講座開催(七島信用組合ホール)、9月5日(土)6(日)
星野麻子(個人会員) CHAMPION SELECTOR spin out to 八丈島開催(リードパークリゾート八丈島)
8月29日(土)

☆9月～11月のイベント(協会主催・後援、加盟団体主催等)

※協会の主催・後援イベントや、加盟団体の活動を中心に掲載しました。詳細は、協会ホームページおよび「FAXメール通信」をご参照ください。

9月

19日(土) NPOあびの実「一日冒険遊び場」
23日(水・祝) 第3回八丈島芸能文化祭(協会主催)
27日(日) 小原流八丈支部いけばな講習会

10月

12日(月・祝) NPOあびの実「子どものためのWS～八丈太鼓を楽しもう」
18日(日) ピティナ・ピアノステップ(協会後援)
24(土)・25日(日) 小原流八丈支部みんなの花展(協会後援)
24日(土)～25日(日) 24時間チャレンジ八丈太鼓

11月

1日(日) 『筑後川』IN 八丈島2015(協会後援)

お月見交流会(昔の月見を楽しもう～檜立場踊り体験)のお知らせ

昨年、NPO あびの実主催で行ない好評だった「お月見会『昔の月見を楽しもう』」を、今年は、文化協会の会員とその関係者を対象に、9月26日(土)に行きます。月見のときに踊られたという檜立場の「場踊り」体験を中心に、太鼓やフラも予定しています。26日は中秋の名月の前日です。月明かりのもと、昔ながらの暗がりの中で、大人も子どもも一緒になってお月見を楽しみましょう。詳しくは別添のチラシ&ポスターをご覧ください。

日時 9月26日(土)6時30分開始、8時30分終了予定

会場 大瀧浦園地(天候によっては大賀郷園地に変更になります・雨天中止)

参加費なし、事前申し込み不要

※協会加盟団体のメンバー、個人会員、賛助会員、その家族、関係者など、お気軽にご参加ください。

会場変更・中止の場合の連絡について

26日午後5時までに八丈島文化協会ホームページ内のブログ(最新情報)にてお知らせします。

当日の天候があいまいで、サイトがご覧いただけない場合には、午後5時以降に

090-5817-3266(山下)までお問い合わせください。



◆気象観測史上初！のニュースが当たり前になった二〇一五年の暑い夏でした。異常気象とか地球規模の大気変動という言葉が普通になり、アベック台風も珍しくなくなつた酷暑も秋風が肌を感じてきました。

◆地球を支配し、環境問題を引き起こしてきた人間たちへの、自然からの反乱のようにも感じられます。自然は本当に正直です。その正直さが私たちの心に何かを問いかけ訴えているような気象現象です。

◆そんな中での今夏の文化協会の活動は、会員の皆さん、理事らの奮闘で順調な日常活動が進行中です。主催・共催事業は「第3回JAZZフェス」、「第3回芸能文化祭」「第27回文化フェス」、「團伊玖磨の心をうたう筑後川」八丈島などです。この他にも多様な文化団体との協同開催、後援事業も増えつつあります。

◆八丈町など行政との協働作業や島内関係機関との協力・協働の機会も増えてきて、文化に特化した協会の専門性も求められようになり、スタッフの不足が悩みでもあります。地域文化活動の更なる広がりへの踏ん張りが続きます。

◆今年度、協会が八丈町の委託を受けて始まった新規事業「文化合宿」は、大学生・小学生の団体に、島での文化体験を通じて島への理解を深め、リーダー養成

などが目的の地域活性化事業です。この夏、都内の高校生約二〇人が来島し初事業を終了しましたが、若者のひたむきな行動は感激的でした。来島の情報があつたら是非お知らせ下さい。文化を通じた島づくりに成長させましょう。

◆町から受託管理し、文化団体の利用に供している「富士見地区公会堂」に対し近隣住民から「音の出るものはうるさいからやめさせろ」との匿名の苦情がありました。音楽も聴く人によっては騒音になるということかと思えます。

◆騒音といえば、保育園や学校の子どもたちの声も訴訟騒ぎになつていますが、都会では高い防音壁に囲まれた園舎・校舎で保育や授業が行なわれている所もあると聞きます。経済活動などで発せられる音や公害、自動車の騒音等は許容できても、楽器などの音は許せないのかもです。悲しいような気もしないではありませんが、我が協会も対応を求められています。

◆冒頭の地球規模の大気変動に戻りますが、地球という自然の恵みと営みに感謝し、島の地域の営みと日常生活に共感し、何事も真っ正直に生きる……今夏の暑さから、古稀を過ぎて初めて体感した人生訓をかみしめています。

(会長：内山江差夫)

第27回文化フェスティバル ～出演者・出展者募集開始

第27回八丈島文化フェスティバルの出演者・出展者の募集を開始します。今年度は昨年度と募集期間、応募方法が異なりますのでご注意ください。ご応募、お待ちしております。

■開催日 2016年1月24日(日)※作品展示部門は1月18日(月)展示開始

■会場 八丈町多目的ホール「おじゃれ」& 町民ギャラリー

■募集期間:2015年9月15日(火)～9月30日(水)

■申込方法:募集要項をお取り寄せの上、所定の申込書に必要事項を記入し、下記申込先までFAXまたはご持参下さい。

※募集要項・申込書は八丈島文化協会のホームページ(<http://8jobunka.jimdo.com>)からダウンロードまたは富士見地区公会堂で配布(受付時間 月～金 9時30分～12時)



8月30日に大瀧浦園地で協会初のバーベキュー交流会が行われ、30名程の参加者、よされ会の八丈太鼓など、天候にも恵まれ、暗くなるまで盛り上がりました。